



新山詩織さんの
スペシャルライブ



バター餅体操を
踊る来場者

北秋田市地域活性化イベント

3つのイベントが同日開催

3つのイベントが同日開催された『北秋田市地域活性化イベント』が、7月22日(土)に交流センターで行われ、多くの人が来場し、楽しいひとときを過ごしました。



ちんどん隊



馬肉の販売



バター餅の振る舞い



公開録音中の新山詩織さん(左)



大道芸人マッキー



枝豆の販売

公開録音のトークでは、新山さんが幼い頃に秋田を訪れたときの思い出を語ったり、覚えていた秋田弁を話すと、笑いが起きるなど、会場は和やかな雰囲気になりました。トークのあとのスペシャルライブでは、新山さんの美しく透き通った歌声に会場からは大きな拍手が送られました。

エフエム秋田公開録音 新山詩織さんスペシャルライブ

8組の大道芸人がジャグリングやヨーヨー、バランス芸、バルーンアートなどを披露して会場を盛り上げました。また、駐車場では、馬肉や枝豆、鮎の塩焼きなどの屋台が出店し、来場者は北秋田のご当地グルメを堪能していました。

北秋田ご当地グルメと パフォーマンスフェス

「バターもちのうた♪」に合わせてミュージックケアやバター餅体操を行い、保育園児や高校生が、イメージキャラクターのバタもつちと一緒に踊って楽しみました。また、秋田北鷹高校家庭クラブ考案のバターもち入りパイも振る舞われ、来場者は風味や食感を味わっていました。

北あきたバター餅の日 5周年記念イベント

くまぐま園

サマーフェスティバル

多彩なイベントで園内にぎわう

エサくだ
さあーい！



間近でヒグマを観察



子熊とのふれあい



家族連れでにぎわう(8月14日)

くまぐま園リニューアルオープン3周年を記念したサマーフェスティバルが、7月23日から8月20日まで行われ、趣向を凝らした多彩な催しにたくさんの人が来場しました。イベント初日には、リニューアル3周年を記念して、ヒグマにスイカがプレゼントされたほか、今年生まれたツキノワグマ3頭の子熊の名前が発表されました。子熊の名前は、今年のオープンに合わせて来園者等から募集したもので751件の応募があり、名前は雄の2頭が「ユウキ」と「元氣」、雌は「ビビ」と決定しました。期間中は「子熊とのふれあい体験」や、ヒグマがいない間に運動場に入り好物の野菜や果物を隠す「ヒグマ舎運動場のえさ隠し体験」、園内にあるチェックポイントを巡る「くまぐまクイズラリー」、石こうで子熊の手型を作る「夏休みクラフトコーナー」、ホンヤドカリやカブトガニ、リクガメなどに触れる「移動水族館」、ヤマメやイワナが釣れる「遊遊ガーデン溪流釣り体験」などが行われたほか、8月6日には、漫画「くまみこ」の作者、吉元ますみ先生の「サイン会」や「お絵かき教室」も行われ、多くの家族連れが親子で各イベントを巡り楽しんでいました。



遊遊ガーデン溪流釣り体験



吉元先生のお絵かき教室(8月6日)



クイズラリー